



# ハチクサン<sup>®</sup> ME

//// シロアリ防除剤

木部処理剤

防蟻・防腐効果に、防カビ効果をプラス。  
木部をしっかりガード。

ハチクサンMEは、イミダクロプリドを主成分とする木部用処理剤です。  
マイクロエマルジョン製剤技術で臭いが少なく、バイエルの土壌処理剤  
との同時使用で住宅をしっかり守ります。

®はバイエルグループの登録商標

## ハチクサンシリーズの 木部処理剤



防蟻

+



防腐

さらに防カビ効果をプラス!



## ハチクサンシリーズの木部処理剤

強力なシロアリ予防駆除効果と高い防腐効果で知られるハチクサンシリーズ。「ハチクサンME」は、防カビ効果をプラスした木部処理剤です。これまでにない総合力が、あらゆる木造建築物をしっかりと守ります。

### ハチクサンMEの効果

#### 1 防蟻効力試験〈室内〉

// 試験方法 木部処理試験(JWPS-TW-S. 1表面処理用木材防蟻剤の室内防蟻効力試験方法および性能基準に準拠)

供試薬剤 ハチクサンME(イミダクロプリド2%、シプロコナゾール2%、IF-NR2%)

供試濃度 有効成分濃度として0.1%(20倍希釈)

近畿大学	死虫率(%)			質量減少率(%)		
	最小	最大	平均	最小	最大	平均
処理試験体	100	100	100	1.67	2.04	1.87
無処理試験体	2.0	5.3	3.6	27.18	34.25	31.75

ハチクサンME処理試験体は、7~10日で全数死亡が確認できました。

近畿大学

#### 2 防腐効力試験〈室内〉

// 試験方法 木部処理試験(JWPS-FW-S. 1表面処理用木材防腐剤の室内防腐効力試験方法および性能基準に準拠)

供試薬剤 ハチクサンME(イミダクロプリド2%、シプロコナゾール2%、IF-NR2%)

供試濃度 有効成分濃度として0.1%(20倍希釈)

供試菌	樹種	試料処理	濃度	平均処理量	質量減少率
				g/㎡	(%)
オオウズラタケ	スギ	処理	0.1%	111.7	1.45
		無処理	-	-	32.87
カワラタケ	ブナ	処理	0.1%	111.1	0.73
		無処理	-	-	25.29

近畿大学

#### 3 防カビ効力試験〈室内〉

// 試験方法 (社)日本木材保存協会規格(第2号)、木材用防カビ剤の防カビ効力試験方法に準拠

供試薬剤 ハチクサンME(イミダクロプリド2%、シプロコナゾール2%、IF-NR2%)

供試濃度 有効成分濃度として0.1%(20倍希釈)

種別	菌種ごとの平均評価値					平均評価値	被害値 S <sub>1</sub> /S <sub>0</sub> (%)
	A1	A2	A3	A4	A5		
処理試験体	0	0	0	0	0	0(S <sub>1</sub> )	0
無処理試験体	3	3	2	2	2	2.4(S <sub>2</sub> )	-

評価値 菌体の発育状況

社内試験

0...カビの発生がまったく認められない

1...側面のみカビの発育が認められる

2...上面の面積の1/3以下のカビの発育が認められる

3...上面の面積の1/3以上のカビの発育が認められる

ハチクサンMEは、  
PTTの理念に基づいて開発された製品です



PROTECTING  
TOMORROW  
...TODAY

##### ● 自然との共存

魚毒性が低く、環境に対して安全性の高い薬剤です。紙ボトル(サスティナブル・パッケージ)の採用により、使用後の廃棄もコンパクトにまとめることができ、製造から廃棄に至るまでの温暖化ガスの排出を低減できます。

##### ● 人の健康と福祉

蒸気圧が低く揮発しにくいため、居住者や作業者の健康に対する影響が低く、さらにマイクロエマルジョン製法による水性乳剤の技術で極めて臭いが少ない施工が可能になりました。厚生労働省が指定する空中濃度指針値が定められているVOC13物質を使用していません。

##### ● 市場、社会とのパートナーシップ

普通物※で、消防法上の危険物にも該当しないため、取り扱いと保管が容易です。非忌避性で運動性の有効成分イミダクロプリドを含んでいるため、ドミノ効果による高い効果が期待できます。シロアリに対する高いドミノ効果に加え、防腐防蟻剤を配合し、腐朽菌に対する高い効果も期待できます。

※ 普通物とは、「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

### 用法・用量

#### // 用法

本剤をよく振り混ぜてから水で20倍に希釈(水17.1ℓに本剤0.9kgを加える)して使用してください。希釈液は使用の都度、十分攪拌し、その日の内に使用してください。なお、本剤は雨が当たる場所には十分配慮し、使用してください。

#### // 使用量

(公社)日本しろあり対策協会編・防除施工標準仕様書に従い使用してください。

##### ● 吹付けまたは塗布処理

新築・既築建築物の予防駆除処理に使用する場合、木材の表面1㎡当たり300mlを基準として、吹付けまたは塗布してください。

##### ● 浸漬処理

新築および増改築用の木材予防処理に使用する場合、用法・用量に則って調製した薬剤に、木材を5分以上完全に浸漬してください。

##### ● 穿孔処理

既築建築物の予防駆除に使用する場合、直径6~13mmのドリルで木材の2分の1以上の深さまで穿孔し、本剤を穿孔部より溢れ出るまで十分加圧注入した後、あらかじめ薬剤で処理した木栓を埋め込んでください。穿孔の角度は45度を原則としますが、使用場面に応じて角度を調節してください。ただし、構造部材等を処理する場合には、構造耐力上支障が生じないように行ってください。

#### // 成分・含量

イミダクロプリド...2.0% シプロコナゾール...2.0%  
IF-NR...2.0% 水、界面活性剤等...94.0%